

卓 球

- 1 主 催 新潟県中学校体育連盟
- 2 共 催 新潟県教育委員会 新潟市教育委員会 小千谷市教育委員会
(公財)新潟県スポーツ協会 新潟県卓球連盟 新潟日報社
- 3 主 管 中越地区中学校体育連盟 小千谷市中学校体育連盟
- 4 後 援 小千谷市 小千谷市スポーツ協会
- 5 期 日 令和6年7月13日(土)・14日(日)

6 日 程 1 3 日 (土)

		8:10	8:30	9:15	9:30	9:40		17:00
役員集合 7:30	開 館 8:00	受付	公式練習		開会式	団体戦 男女各1回戦～決勝リーグ	表彰	
		審判 打合せ	監督会議					
		8:15	8:45					

1 4 日 (日)

		8:10	8:30	9:15	9:30	9:40		15:30
役員集合 7:30	開 館 8:00	受付	公式練習		開始式	個人戦 男女各1回戦～決勝	閉会式	
		審判 打合せ	監督会議					
		8:15	8:45					

7 会 場 小千谷市総合体育館

8 競技方法

- <団体戦>
- (1) 男女とも上越地区3、中越地区6、下越地区3、新潟市4の代表チームにより、予選トーナメント及び、上位4チームによる決勝リーグの方式で行う。
 - (2) 4シングルス・1ダブルスとし、3番にダブルスをおく。ただし、同一試合に同一選手は1マッチしか出場できない。
 - (3) チーム編成は、監督1名(当該校校長・教員・部活動指導員)、アドバイザー1名(当該校校長・教員・部活動指導員、又は外部指導者)、マネージャー1名(当該校教員・部活動指導員・生徒)、選手10名の13名以内。
 - (4) 地域クラブ活動として参加する場合、監督1名、アドバイザー1名は新潟県中学校体育連盟に登録をされた20歳以上の成人(代表者・指導者)のみ認める。マネージャー1名は、新潟県中学校体育連盟に登録をされた20歳以上の成人(代表者・指導者)または選手であること。
 - (5) 全校在籍生徒数が4・5名でも参加できるが、オーダーは次のように置き、該当校は代表者会で申し出る。
*5名の場合2・3・4・5番に。4名の場合3・4・5番に。
 - (6) 1回戦は5番まで行い、それ以後は3点先取とする。

<個人戦>

- (1) 男女とも上越地区16、中越地区28、下越地区16、新潟市20名の代表選手計80名によるトーナメント方式で行う。
- (2) アドバイザーは1名とする。アドバイザーは、校長・教員・部活動指導員・生徒、もしくは外部指導者とする。また、選手が複数出場する場合は、その数まで登録することができる。
- (3) 地域クラブ活動として参加する場合、アドバイザーは新潟県中学校体育連盟に登録をされた20歳以上の成人(代表者・指導者)・選手であること。ただし、試合中の交代は認めない。

<団体戦・個人戦共通>

- (1) 1ゲーム11本、5ゲームスマッチとする。
- (2) チェンジエンドを行う。
- (3) 外部指導者は当該校の校長が認めた成人とし、所定の指導者承認書を提出すること。ただし、中学校教職員と地域クラブ活動の代表者は他チームの外部指導者にはなれない。

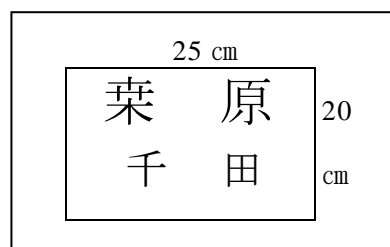
9 申し込み

参加校は地区大会終了時に必要書類を作成し、その場で手続きを完了する。

- ア. 参加申込書(校長職印・記載者印)
- イ. 参加料納付書(責任者印)
- ウ. 参加料(1人1,000円)
- エ. その他必要書類(指導者承認書・宿泊申込書)

10 注意事項

- (1) ルールは現行の日本卓球ルールと本大会要項による。
- (2) 試合中ラケットにプレー続行不能な損傷が発生した場合、代替りのラケットか競技領域内で手渡されたラケットですぐに試合を続行すること。(プレー領域に入った後のラバーの張り替えは認めない)
なお、ラバーの違反の判定は、内部に破損箇所がある、もしくは縁なら3mm程度の破損が3つ以上ある場合をめどとする。
- (3) 使用球は、JTTA指定の40mmホワイトボール(ニッタクプラスチック3スタープレミアムクリーン)とする。
- (4) ベンチは登録された者以外入れない。
- (5) ゲーム間の休憩時間は1分以内でその間に、①団体戦では、ベンチ内の人、②個人戦では、登録されたアドバイザー1名からアドバイスを受けることができる。
- (6) 監督・マネージャー・アドバイザーは所定の様式のIDカードを身につける。ひな形は県中連HPに掲載するので、各チームで準備する。
- (7) 開会式及び、試合日における団体戦初戦に出場するチームの選手のユニフォームはチームで統一する。
- (8) 選手は、半袖・短パンでプレー領域に入ること。
- (9) 原則として、監督および選手は試合終了までベンチにいること。また、試合中の選手は試合終了までプレー領域を出ないこと。
- (10) 選手は右図の形式のゼッケンを着用すること。
* (公財)日本卓球協会交付のものが望ましい。
- (11) 応援で鳴り物の使用は禁止する。
(ただし、うちわは使用してもよいこととする)
- (12) 試合前後の挨拶は監督も選手も行い、そのあと改めてベンチにいる相手監督などに挨拶をしない。
- (13) 特別な事情があり、選手(個人戦は認めない)・監督・アドバイザー・マネージャーを変更する場合は、各日の監督会議の前に「変更届(別紙)」を審判長に届け出ること。(外部指導者に変更する場合は、併せて指導者承認書も提出すること)
- (14) 個人戦で締め切り期日前に辞退者があった場合は、当該地区で補充する。



(15) その他

- ①団体戦は進行上2台以上で競技を行うこともある。
- ②オーダーはフルネームで記入し、試合開始前にコート近くにいる主審へ提出する。
- ③フラッシュ撮影は厳禁とする。
- ④フロアでは許可された者以外写真撮影、ビデオ撮影はできない。
- ⑤タイムテーブルの時間よりも早まることもあるので、30分前に会場で待機のこと。
- ⑥北信越大会へは**団体戦男女共に4チーム**、個人戦男女共10名出場できる。
- ⑦**団体戦の1位と個人戦の1位と2位に開催地枠として全中出場の権利を与える。**
- ⑧組合せは県中体連卓球専門部会で行う。
- ⑨組合せ・事前連絡事項等は、7月5日(金)までに県中体連のHPに掲載する。メールでの配信は行わない。